

その他の教育研究業におけるその他の起因物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	13~14	同校の校長より、バスケットボールを通して、児童の休み時間を利用して、児童とのコミュニケーションを深めるよう指示があり、同校体育館でバスケットボールをして、ダンクシュートを行った際、着地でバランスを崩してしまい、受傷した。	38~299	100
2	11~12	体育館で、体育指導をしている時、主で行っている先生のところに子どもが行ってしまいその子を抱きかかえて走り出した。腰をひねった状態で走り出したため、筋筋膜性腰椎症が発症し、その後の検査で腰椎椎間板ヘルニアを診断された。	23~29	10
4	11~12	走ってきた園児を抱き上げようとした際に、園児の動きに対応できず右手中指を脱臼した。	57	1~9
5	19~20	当園学校寮内において、生徒の行動（自分のやりたいことを無理に通ろうとし、それが出来ないと分かると外に出ようとしたこと）に対し、注意を与えたところ、生徒が暴れだし、それを止めようとしたところ複数回殴られ、頭部及び首を痛めた。	23~29	10
5	9~10	保育所の園庭にて、保育業務を行っていた際、児童を抱いて立っていた当該職員に対し、他の児童が前方から走ってきてぶつかり、左太ももと左膝に筋挫傷および膝靭帯損傷を負った。	60~99	50
5	9~10	4年生の音楽の授業開始時に被害者が音楽室の床に体育座りで座っていた。そこに児童Aが被害者の後ろから走ってきて被害者の両肩に飛び乗ってきて、頸椎を痛めた。児童Aは、自閉症スペクトラムで特別支援学級に在籍している。言葉を通して人と関わる事が出来ないため、いきなりスキンシップを求めてくる事が多く、自分のしたことが相手にどう思われるか考えずにやってしまうことが多い。	49~29	10
	13~	園舎内トイレにて、トイレに入っている子供の様子を見に行く途中、遊んでいた子		1~

6	14	供に気付かず足が引っ掛かり、転んだ拍子に両膝から床にぶつけてしまった。直後、痛みが続いた。	35	9
7	10~11	応急救護指導員講習中に講習会場で、負傷者の移動の実習時に負傷者を背負う際に、自分の腰に強い負荷がかかり腰に強い痛みとともに電気のようなものが走り、その場で動けなくなった。しかし、資格取得のため、翌日の実技試験まで無理をし、悪化させてしまった。その後、整形外科で診察とレントゲン、MRI検査をし、医者の診察結果はMRIの画像から見て、強い負荷による第4、5腰椎の椎間板ヘルニアとの診断だった。	44	30 ~ 49
7	13~ 14	当事業所内の屋内馬場にて、馬の速歩練習をしていたとき、馬場の入り口付近を親子連れが通った際、何らかのはずみで馬が驚いて跳ねて躓き、人馬共に転倒して受傷した。	32	10 ~ 29
9	12~ 13	児童発達支援の保育中、利用者の5歳児男子と遊んでいる際に、利用者がバランスを崩し、被災者の胸の上に乗る形になり、その時は痛みを感じなかったが、徐々に左の胸のあたりに痛みを感じた。	41	10 ~ 29
9	11~ 12	運動会において、卒園児の徒競走プログラムに参加、その際、コース上の最初のカーブ付近で右足甲あたりに激痛が走り、歩行困難となった。	62	10 ~ 29
10	11~ 12	運営しているテニススクールでの練習中、生徒の打ったボールがネットのボールに当たり、跳ねたボールを避けることが出来ず、右目に当たった事により受傷した。	59	1~ 9
10	17~ 18	小学校のびのびルームにて勤務中、運動場で児童のサッカー指導中に飛んできたサッカーボールが右眼に当たり負傷したものである。	61	10 ~ 29
11	16~ 17	当社療育教室内事務室の洗い場で作業中、当社施設利用者（障がい児）が入室禁止の事務室に入りパソコンを触っていたので退出をするよう口頭で注意したが従わなかったため、児童の手を引き退出を促した際、下腹部を強く蹴られ、負傷した。	29	10 ~ 29
12	14~15	小学校のグラウンドで、子供たちが数人でサッカーをしていたとき、転がったボールのボール拾いをしていたところ、子供が蹴った勢いのあるボールを蹴り返そうと	72	10 ~

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html